特別
へ13
3957
3

真蹟諸国物語

目録　　三之巻

第一　子い茶髪の盛四郎又い色氣と白粉と書

駿州今川家小姓と稱く思小姓

出家の元を殺と親の名事い忠臣の條

若衆の刀と待ねい心乃坐悦堂花か條

40-5295

第二　人知れぬ恋路の苦しさ

涙を貫ひ抑へい彩る風吹く腰掛

辻堂で夫を殺して逃げる

金釵さかの首打ち落す女の人物

第三　若衆小命と紅血汐小濃る大坂の住相

第　　三人一番つい合せて俳諧の発句

家むの味しを方の四組紙つさ分部

眼おい兄の歌けれる名佳人乃傾城

二百種俳風柳樽　巻之二

一　子はお盛の豊新子い名字と仕盛の盛

男色を恋と破る。女色を恋と破る。

御用仕もこれ付ける長氏まを絵を絵ぶを手りてけ

のはしりう。おけの西郎しらう。武乃のるい屋て用法の美

ゆう男色とぬすのい若衆すぐ行ゆ若衆のおんれ。

行いぶ。ゆ人儀さ若のこいそむ右ゆ。

の見ふぬ。ゆ中に兵様さ右ゆ。

れ乃くのいて。形いるふ法ぐゆさ

られ。行ゆ側をるゆれど。ゆ法ぐるれ。

しゆゆ行の見法ゆ。ゆ乃ゆ

わそぐ。日装席と同じ。ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あん内
つけろ
あれをこそ
ざらつと
ぬれさう

金川
ぬる
清小姓
ぬる
ぬる
すろ

より親たの方を頼りて、ひたすらに、よびよせ給へども、
あるべきかぎりの、あらゆる、けさうをまうけ、
華燭若衆に、今川氏真、三の男にて、
侍方を勤め、吳服を、
おもてをつくりて、人々せつ、今は、
早速、あづかり、
出家して、
さうやさまざまに出でやそ、
時に、
所とて、
繁盛、
見物、
人いわのかつを、
行けば、
人の親の、
今の、
行の、
まで、
てものの、
いつ、
おの、
らう、
事の、
主人、
行けば、
人の、
今の、
と、
行の、
ここに、
ものの、
いつ、
おの、
らう、
事の、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さんれい金をあつて海ゝ遠ゝの客を紙怪びゝ色さんをつくり新
をれいゝ新ゝをゝ出家屋にあづかるとゝふゝもうひ出いあるうさゝ家に紙術
色はをとひとをあつてゝをはゝ出すをこゝをあてゝゝ本のみをゝをゝゝ二流を拾ゝ
する。ゝ本をゝゝゝて色用自分の色をゝをゝて俗和にも古力の梅をゝする。
無をの色をゝ新りの俗ゝゝ家ゝ家をゝゝゝゝゝ出ゝゝゝて郎ゝ大紙軍
八二程流大四へ執ゝの出をゝけれゝゝ人中ゝて俗ゝゝよゝ同ゝ本中の富色
をゝ八をゝ兵牙の紙流ゝをゝゝゝゝ中ゝゝゝゝ師花のゝゝか
れゝ新ゝ人ゝゝゝゝゝ

きんこ[illegible]の[illegible]とうぐ[illegible]すひ[illegible]系統[illegible]
[illegible]
[illegible]

尺の帯を拭うてうつぶす。丸髷の羽織だつきいと[illegible]
とるるうち。西人はかくとおたんらつんで。のの者をあく。[illegible]
て。おもてをうつぶせぬぞさ。ひとりく。[illegible]
うけけそこれ。[illegible]
けいく。[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるぢいうわ仕合者悪いとしいかよの低い振舞ふ行ふ仕茶中の
こ伊藤右内と称ふ行ふ仕ふ行ふ子細いたしきていに渋をうけ
ゆく勢をとてうトは強く彩くまぬの笑紛ゆるゆるゆるゆるトせ
ざるふつうさびうんにうておて振舞ふ知仕やにそとれて
のぶれまと高山いたれと高山と云て中金仕彩とあれいぶ墨右内
方へ人でとうけらていに背ら出れ紛方まれ作紛之知ふさんう。
あれまそれいつ出ぶ仕合とれ茶おへどと別むくろいをを彩ふ
と高仕人いは伊彩へまれ仕方しをいむくろをいと強さまづみーグ
仕ふ右内ぐ雲方しいぶ出ふ仕ふ出ぬそれ仕ぶ仕雲ぬ
て妻女の歌とれそいつる三ぶ仕ふ彩中に右内ふ方とちぐ消れとお
きていく向をそて出きて仕ふすくそ彩さ右内平生に紛西い面
本ゆ方ふしいそいふんぐみ金仕ふんと。西にを彩ゆ方へ紛紛

ぬぶ右内家八妻人いおまをと彩みとあひ背彩てゆ方ふ仕紙とそまぐ
ふてとくぐ彩れたあり雲ゆ彩みと金背消れ出人ぐ彩れ仕の。
ゆを雲ふを働をとぶ内ふけんと彩みぐ彩ゆ彩ふそ彩ふと。紛ふ彩。
彩ーみていあぐぶひもふゆ女のそゆれ雲ゆ彩れ雲ゆ彩ぶ仕く
ゆのををたくと彩ふんとゆれぶ右内ゆ彩ぶ右内ゆ仕ふを
ふゆ彩ぶ右内ぶ右内ゆ雲ふれぶ背ゆ右内ゆ仕ふ彩ゆ右内ゆ彩
ら仕ふて雲ふれぶ雲とぬゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩
ぐ雲ふゆぐ雲て才雲八が彩みと金仕ふてゆふゆ彩ゆ彩ゆ彩
ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩
ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩
ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩ゆ彩

三條ざき
なづ
ぐん八
ぐん八

東
角つが
やき
夜の
ていら
いぬ張ぐん八
みげあく
みどろ
あんぐ
かるろ
ぐん八
きろうち
東本角つ
きろひすと
三條ざき
きろ

さいつ宮されと四人ハ八れバ[illegible]を四人[illegible]三人[illegible]
うて拾右門ハ[illegible]今ハ[illegible]乃宮所の[illegible]
[illegible]夜ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]母方[illegible]
せ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

(三) [illegible]
[illegible]一日の栄[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

あらはれ。今月も又湯と男に出立ちてゆれて西へ行く為人にて
今宵ひのこと有けるに。そこと云て三近しと。今宵の事と云に
こゝ百姓の家にて。一夜よやとり。方角ゆゑ。
方角をとる。五の契約の行て。その事を知あはぬ。こゝにて
為ならんと云て。ゆくも同じ。ぬけ出こゝの者共。
と云事さしの。はるゝ人のかゝ。
ゆゑ。ゆくれ。ゆくも。
一夜ふき。
ぬけ。二人。
西へ。
一夜ふきて。
二人。
方角。
方角。
方角

みぬ。ぬ。四郎、八郎、ともに切りすびぬ。五人、金を引まげて、一ぬく、部屋、部屋、部屋、部屋の
ちまるに、殺れ。一ぬ、ぬ、ぬ、

老八角子八郎今宮とうさぶらひ。さて四郎殿。欲ハ抽者一人ぞ。あるべき
ものをと。あんとおぼし負分一人の仕ぐのゆゑにて。光れば。行ぎやう無
為なれども。すぐ名聞の師とおさうと。移よそ。祝めて移るこうを結ひさ
きあくとても。あんものぐれいみほど。三人さて宮殿にて。老八郎ゆみ。弓たぐ
面おいて。後負せらるべとて。ひ法さうれば。あんこそ弓抽して。三人一所
ふめて出れば。老八郎ゆも。更そて。弟とうけ投合そ切むすびに。
天の理をいて。最神のぎくひ。あるとぎ。三人一所。同ど抽ぎ切たそもば。
新法ふ扇とひきぎ。あんとあるぎ。おのがりく。抽ぎるんぎ色ぎ。抽者ど
し。各三人ぎ的新法扇ハ上ら見ど。と。昭方ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。
ら見ぎる。弾ぎ武宝ぎ。ぎ。あんとぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。
ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。
其頃法師物語巻之三終